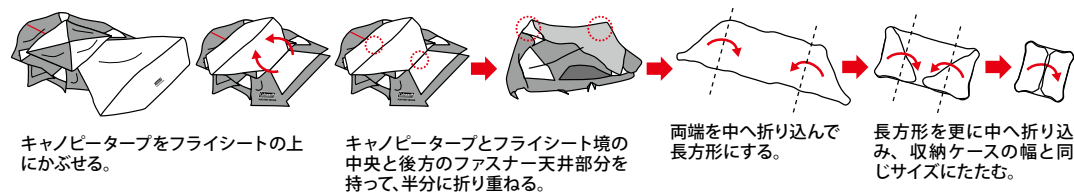


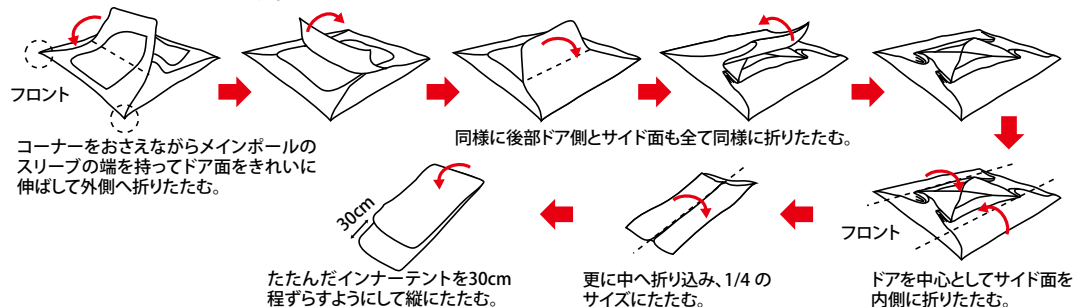
撤収手順

STEP 1 吊り下げていたインナーテントを取り外します。フライシートを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて外し、下図のようにしてたたみます。

注意 テントを濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。

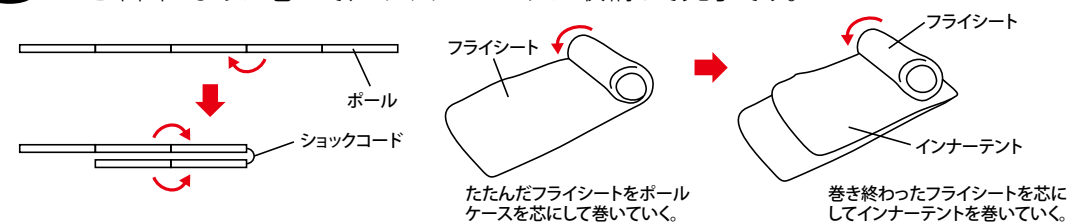


STEP 2 取り外したインナーテントを広げ、空気を逃がすために前後のドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



注意 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納すると、色移りやカビ発生の原因となります。

STEP 3 ポールを全ておりたたみポールケースに収納します。フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



注意 ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一にテンションがかかり、ショックコードの寿命をのばす事ができます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

コールマン ジャパン株式会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス：0120-111-957

受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30

4S WIDE 2-AIRIUM

[4S ワイド 2 エアリウム]

取扱い・組立て説明書



この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

組立・使用上の注意及び禁止事項

危険 この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

収納・管理の注意

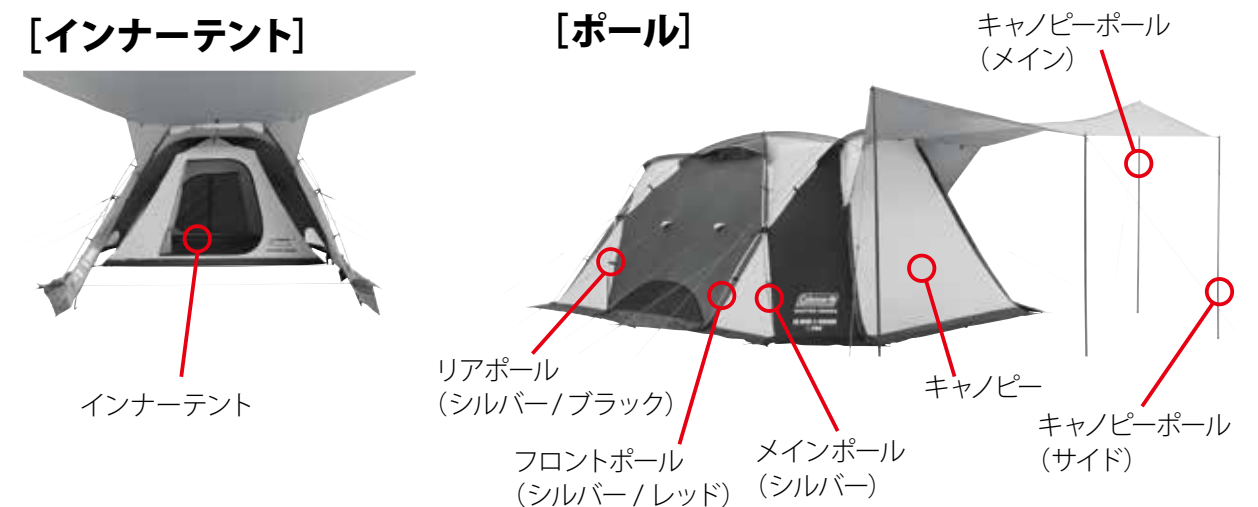
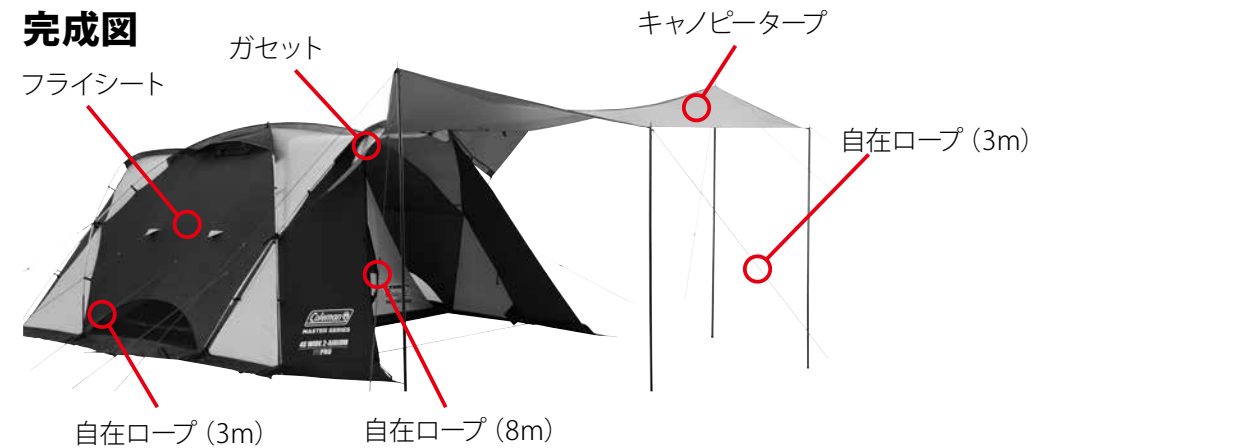
注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納は、色移りやカビの原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると色移りやカビの原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

各部の名称・セット内容

セット内容 お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●フライシート	1張
●インナーテント	1張
●メインポール (シルバー)	2本
●フロントポール (シルバー/レッド)	1本
●リアポール (シルバー/ブラック)	1本
●キャンピーポール (メイン)	2本
●キャンピーポール (サイド)	2本
●自在ロープ (3m)	10本
●自在ロープ (8m)	2本
●ペグ	27本
●ハンマー	1ヶ

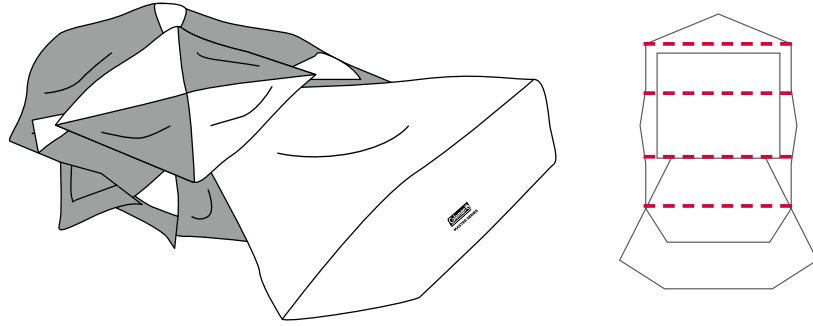


※設営時のポイント
本製品は、各ポール、スリーブ、ループの一部に塗装を施しており、ポールをスリーブに通す際やループのエンドクリップにセットする際は、それぞれ同じ色のパーツにセットすることで、簡単に設営できます。

設 営 手 順

I フライシートを広げる

STEP 1 フライシートを広げます。(スタンディングテープのバックルが留まっているか確認してください。留まっていないとうまく立ち上がりません。)



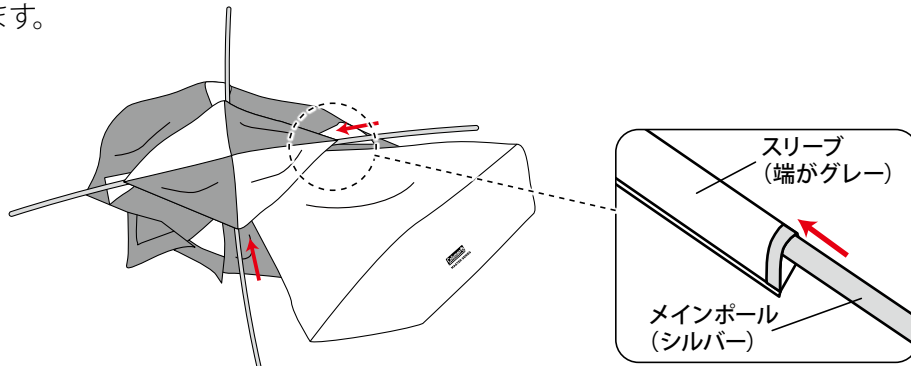
II メインポールをセットする

STEP 2 メインポール (シルバー) を伸ばします。



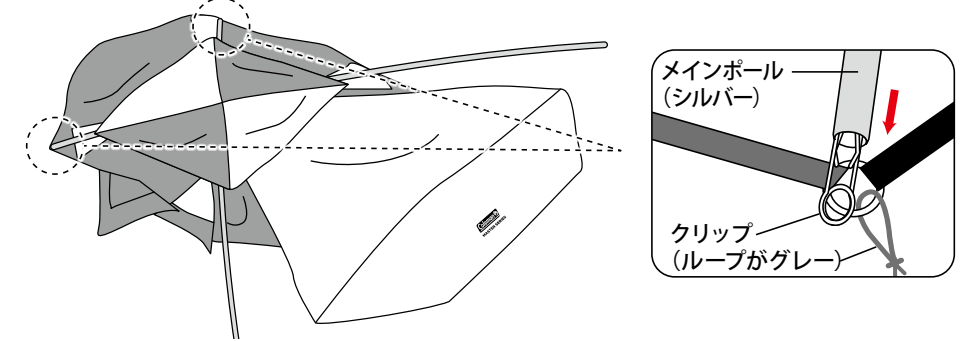
注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 3 メインポール (シルバー) 2 本をクロスになるようにスリーブ (端がグレー) に通します。



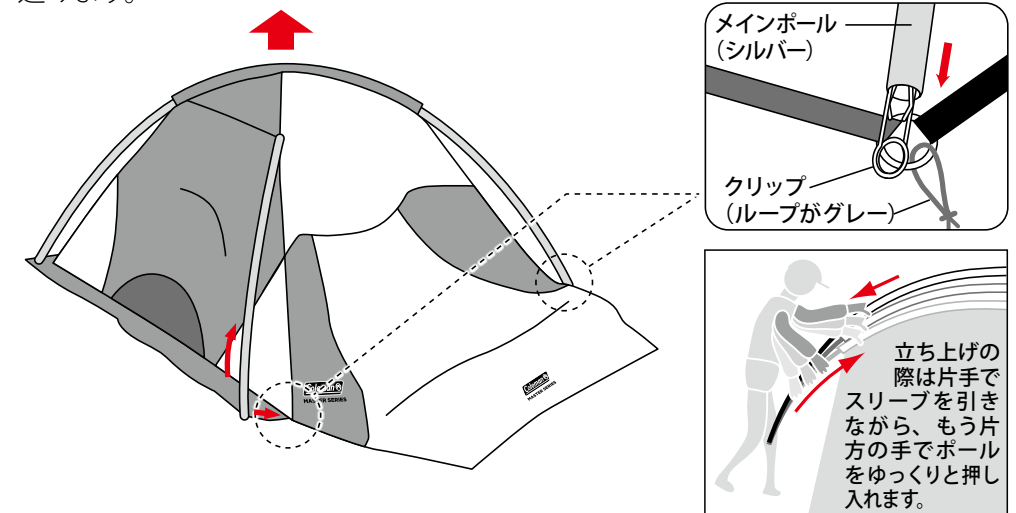
注意 ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

STEP 4 メインポール (シルバー) 2 本の奥側の端を、フライシートのコーナーにあるループがグレーのクリップにそれぞれ差し込みます。



注意 ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

STEP 5 ポールがクリップに差し込まれていない方のスリーブの端を持ち、メインポール (シルバー) 2 本をそれぞれ押し入れながら、フライシートを立ち上げます。立ち上がった後、まだクリップに差し込まれていない側のメインポール (シルバー) 2 本の端を、フライシートの前方にあるループがグレーのクリップにそれぞれ差し込みます。



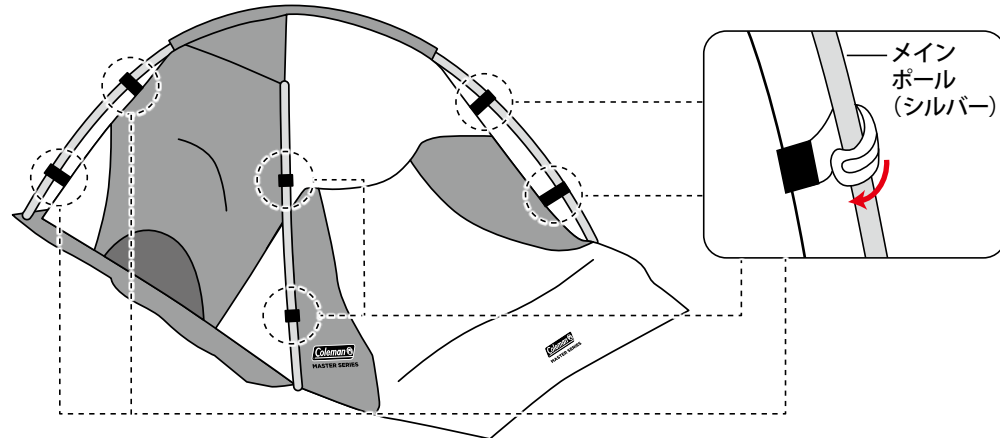
注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

注意 メインポールは2人で2本同時に、徐々に立ち上げてください。立ち上げの際は片手でスリーブを引きながら、もう片方の手でポールをゆっくりと押し入れます。スリーブを持たずに押し込むと、ポールが折れたり生地が破れたりします。

注意 立ち上げの際、中に空気が入るようにフライシートを少しめくりながら立ち上げると、立ち上がりやすくなります。

STEP 6

フライシートについているフックをポールにかけ固定します。



注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

III

フロントポールをセットする

STEP 7

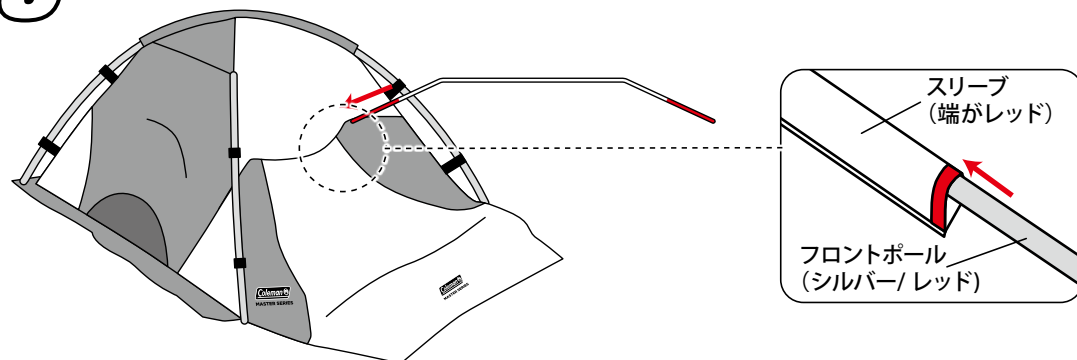
フロントポール (シルバー/レッド) を伸ばします。



注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 8

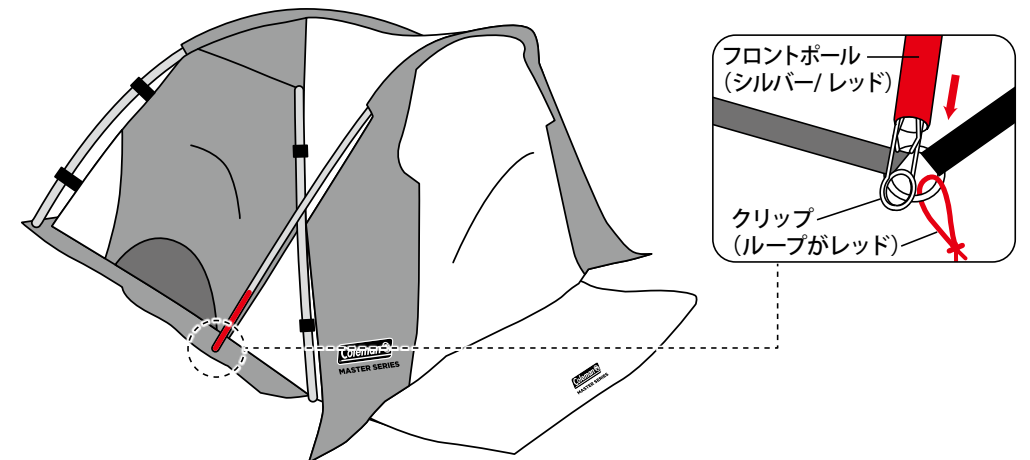
フロントポール (シルバー/レッド) をスリーブ (端がレッド) に通します。



注意 フロントポールはメインポールの上になります。ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

STEP 9

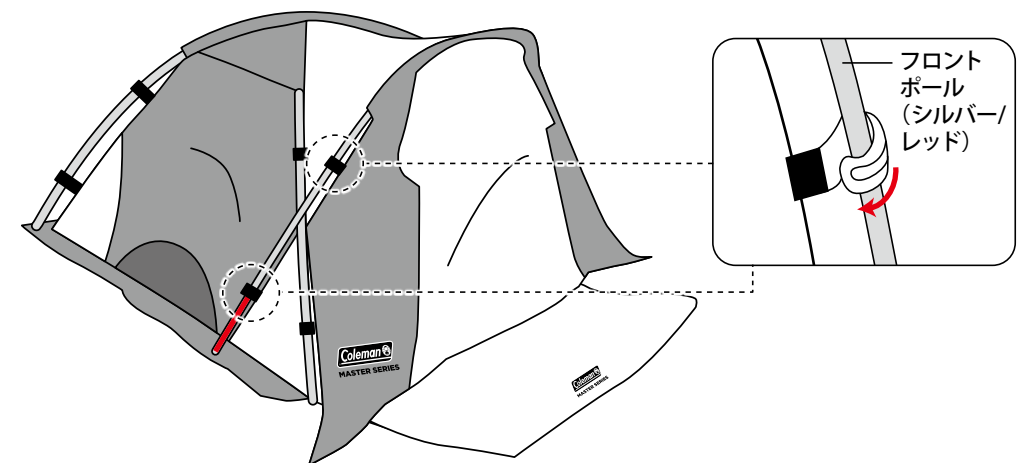
フロントポール (シルバー/レッド) の端を、フライシートのサイドにあるループがレッドのクリップに差し込みます。



注意 ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

STEP 10

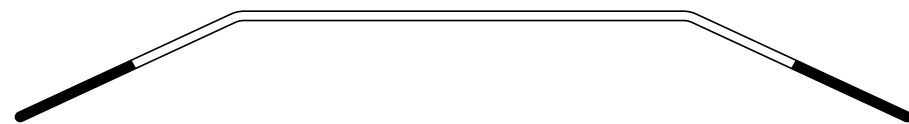
フライシートについているフックをポールにかけ固定します。



注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

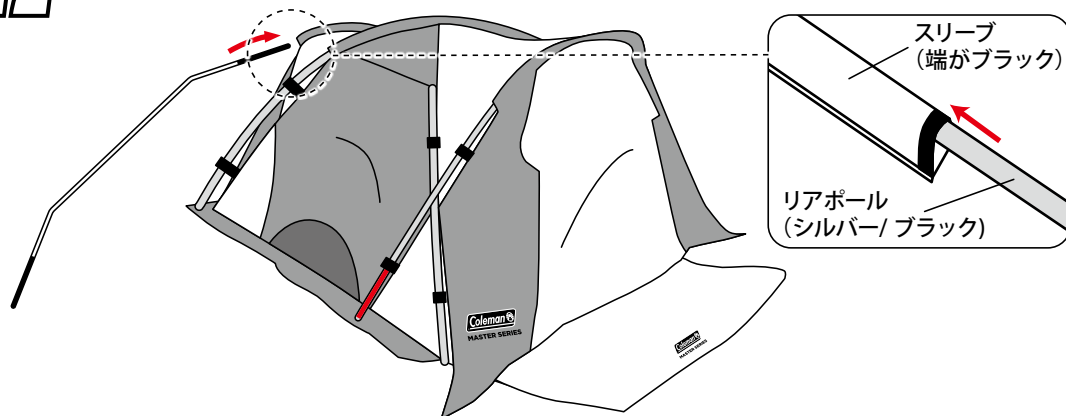
IV リアポールをセットする

STEP 11 リアポール (シルバー/ブラック) を伸ばします。



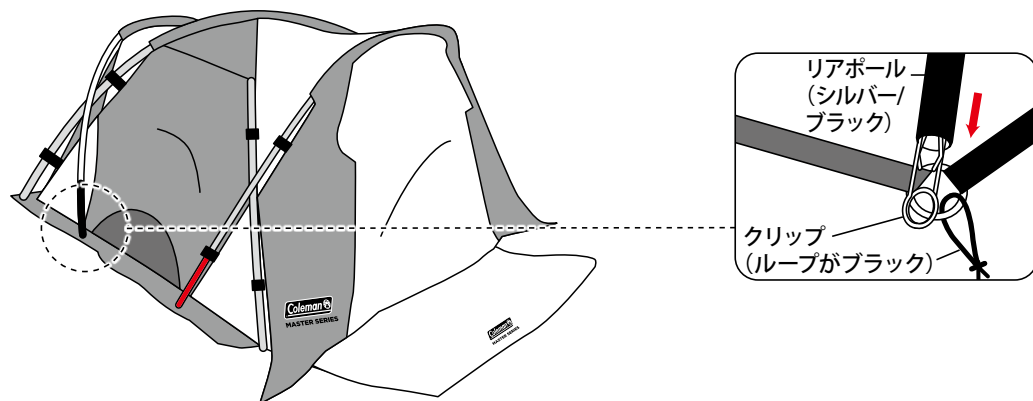
注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 12 リアポール (シルバー/ブラック) をスリーブ (端がブラック) に通します。



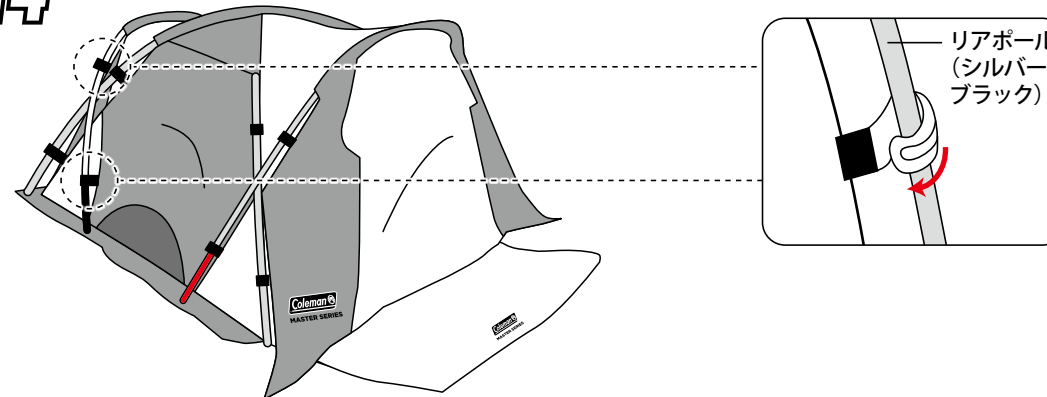
注意 リアポールはメインポールの上になります。ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

STEP 13 リアポール (シルバー/ブラック) の端を、フライシートのサイドにあるループがブラックのクリップに差し込みます。



注意 ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

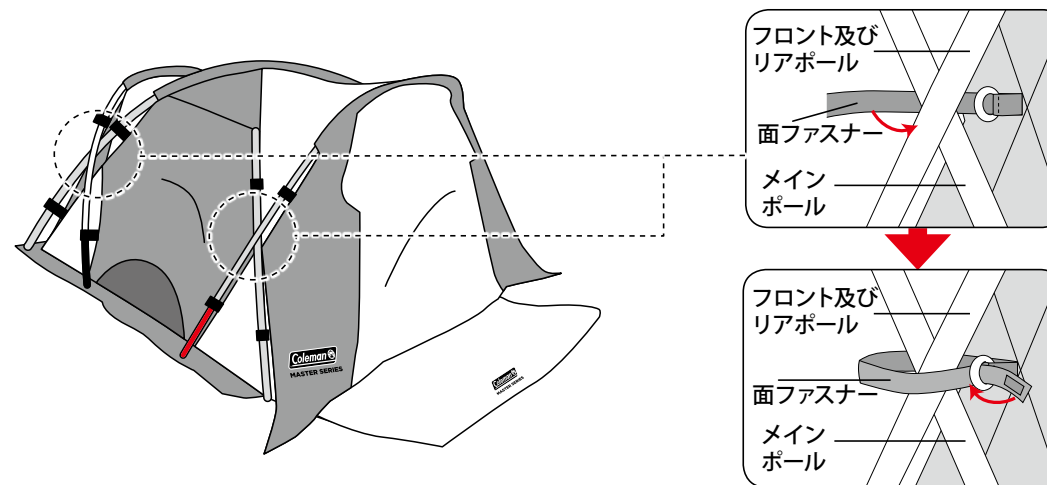
STEP 14 フライシートについているフックをポールにかけ固定します。



注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

V メインポールとフロント・リアポールを固定する

STEP 15 メインポール (シルバー) とフロントポール・リアポールの交差部を面ファスナーで固定します。



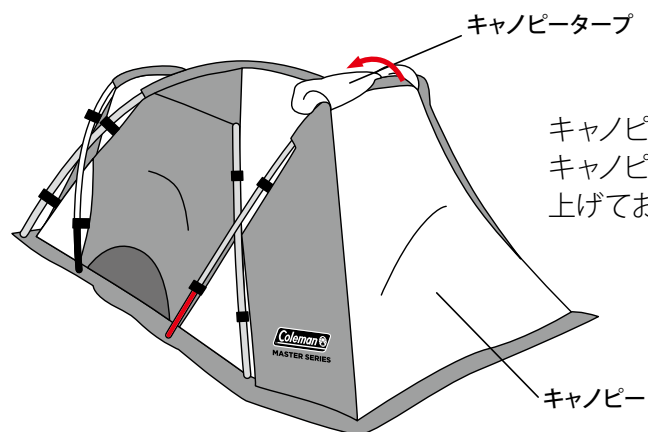
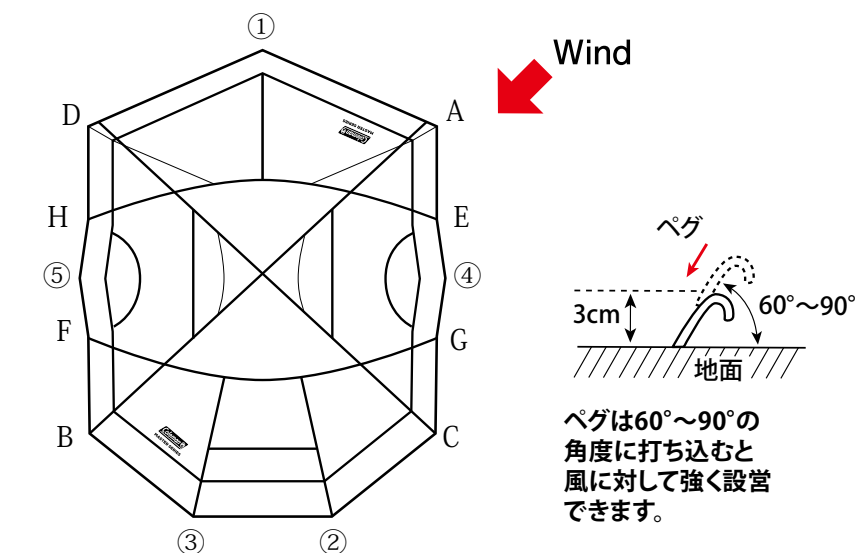
注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

VI 設置場所を決めペグで固定する

STEP 16 前後のフライシートのファスナーを全て閉めます。

注意 ペグで固定する間に、必ず、ファスナーを閉じておいてください。ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

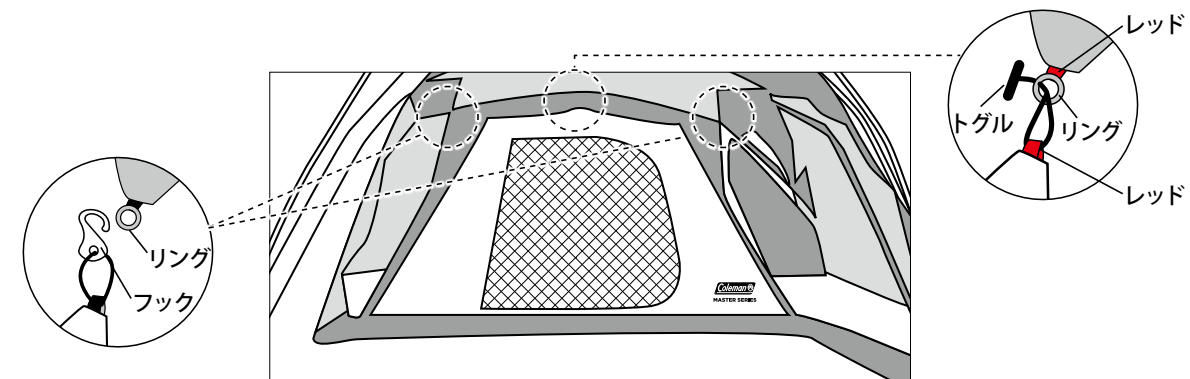
STEP 17 設営位置を決め、図のように8ヶ所のポールのある端にあるループを風上より順に(A~H)対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。前後のループを張り出し、ペグで5ヶ所(①~⑤)を固定します。



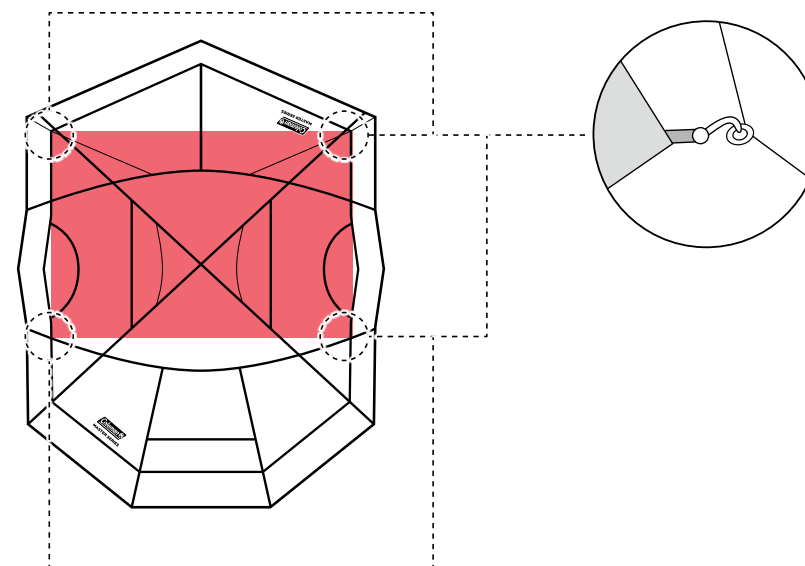
キャンピーをペグで固定する際、キャンピータープを一度天井にまくり上げておくと固定しやすくなります。

VII インナーテントをセットする

STEP 18 インナーテントを吊り下げます。フライシート内側中央にあるリング(テープがレッド)にインナーテントのトグル(テープがレッド)をかけます。次にフックをリングにかけます。



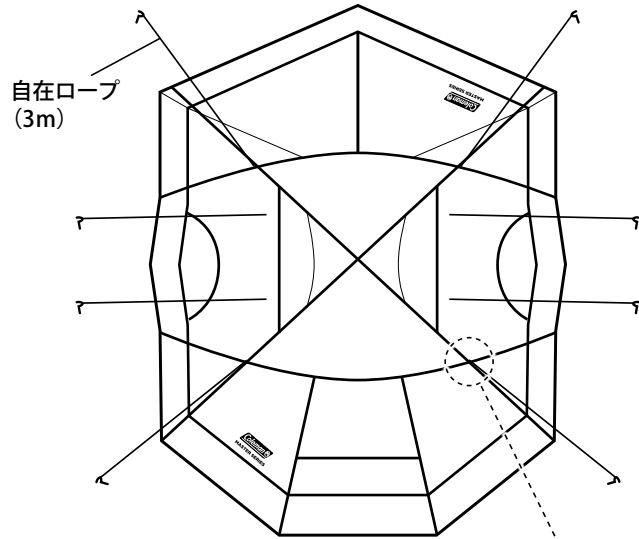
STEP 19 インナーテントにあるフックをフライシートのリングにかけて、インナーテントフロアのコーナーを固定します。



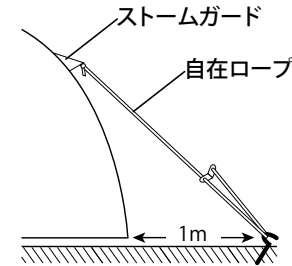
VIII ロープを張り固定する

STEP 20

ストームガードシステムはテントの安定性を高めます。各ポールにストームガードでポールとフライシートを固定し、ロープを図のように取り付けペグで固定します。

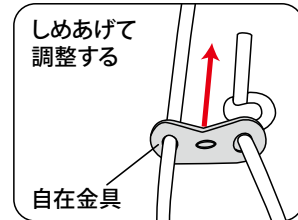


上・右図の要領にて8ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグを打ち込み固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。



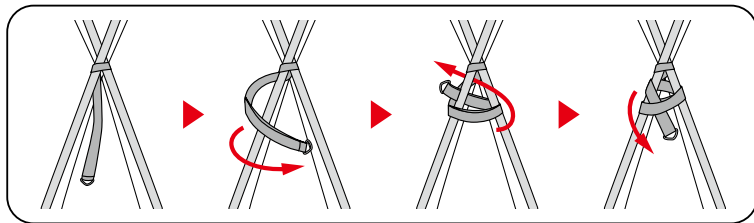
自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。

自在の使用方法



ストームガード

ウェビングテープをポールに巻きつけることで、生地とポールに力を分散。



注意

大きなサイズのテントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

IX キャンピータープでリビングを作る

STEP 21

キャンピーポール (メイン・サイド) を伸ばします。

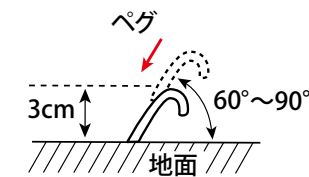
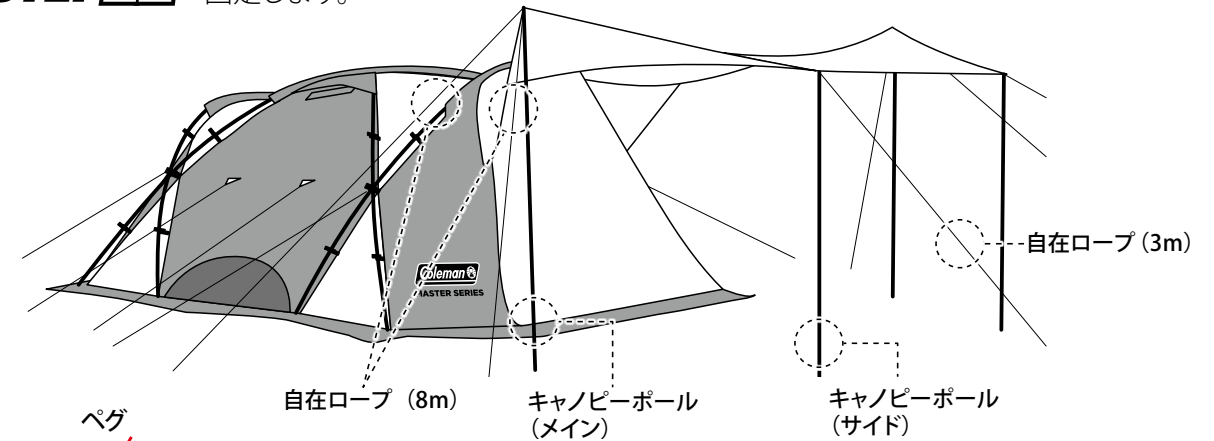


注意

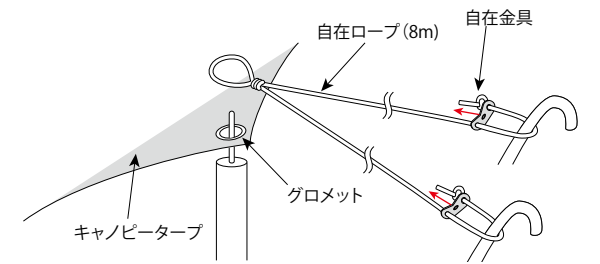
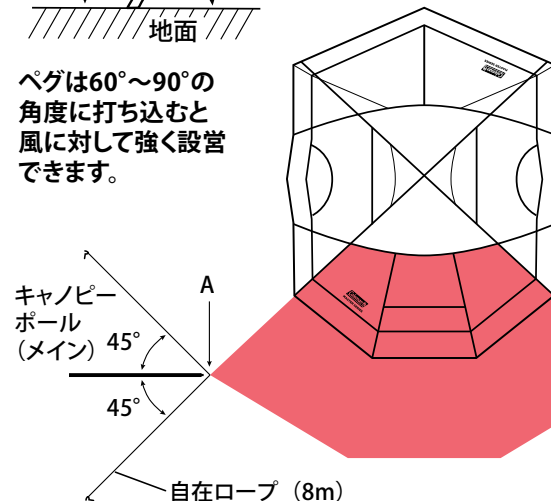
ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 22

キャンピーポールを使ってキャンピータープを張り出し、ロープを結びペグで固定します。



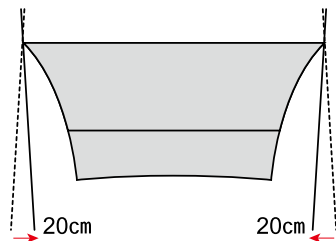
ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。



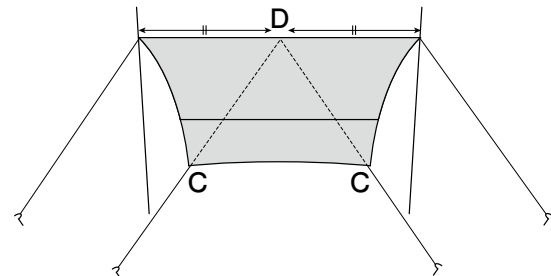
最初にキャンピータープのグロメット、次に自在ロープ(8m)の中間に輪を作り、その輪にポールをかけ、ロープを調整しながら、A・Bの場所にポールが垂直になるように立てます。

ポールが垂直に立ったことを確認し、下部を図のように20cm程内側に寄せます。
 ※キャンピーポール（メイン）を内側に寄せることでキャンピータープ本体が安定します。

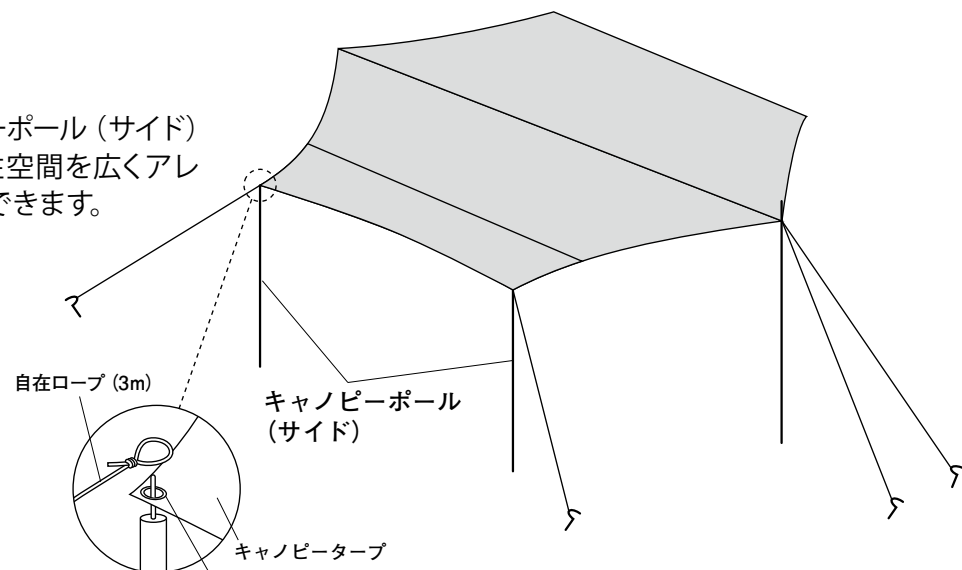
(横図)



キャンピータープの隅（下図Cの部分）に各々自在ロープ（3m）を結び、キャンピータープの上部の中心（下図Dの部分）とCの隅部分の延長線上方向にロープを引き、ペグを打ちます。最後にロープの自在金具を調節し、キャンピータープを固定してしわがないようにします。



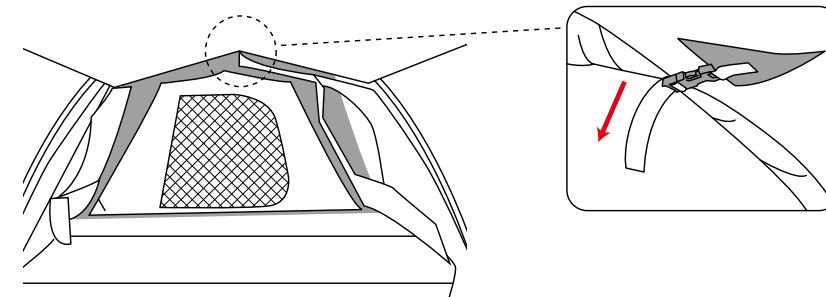
付属のキャンピーポール（サイド）を活用して、居住空間を広くアレンジすることができます。



STEP 23 キャンピータープを活用する。

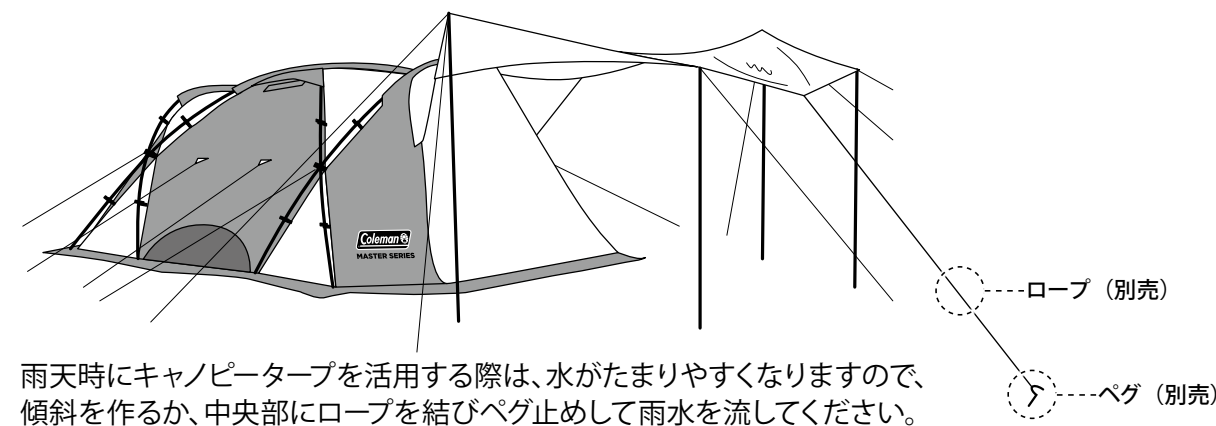
ハイビューシステム

キャンピータープの中央部のバックルをしめることにより、中央部のたるみを取りキャンピータープを高く使用できます。



注意

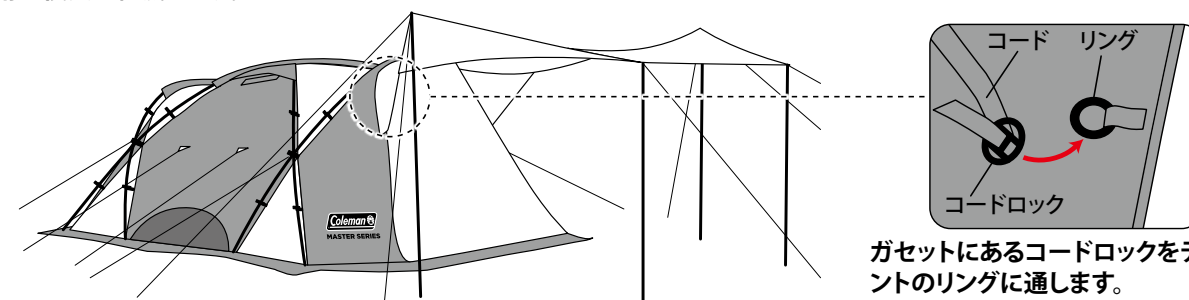
風の強い時は、必ずキャンピータープを閉じてください。
 ポールが折れる可能性があります。



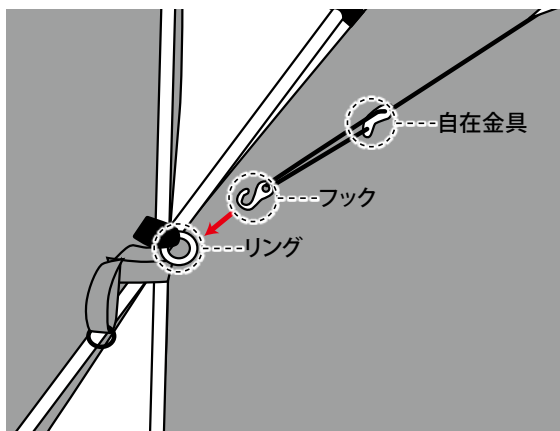
雨天時にキャンピータープを活用する際は、水がたまりやすくなりますので、傾斜を作るか、中央部にロープを結びペグ止めて雨水を流してください。

ガセット

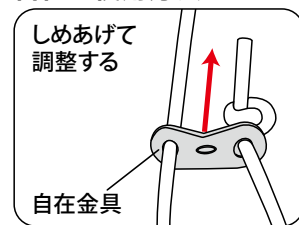
ガセットを広げることで、雨天時の雨の侵入を軽減します。



ガセットにあるコードロックをテントのリングに通します。
 指でコードをつまんでコードの長さを調節して、ガセットのテンションを調節します。



自在の使用方法

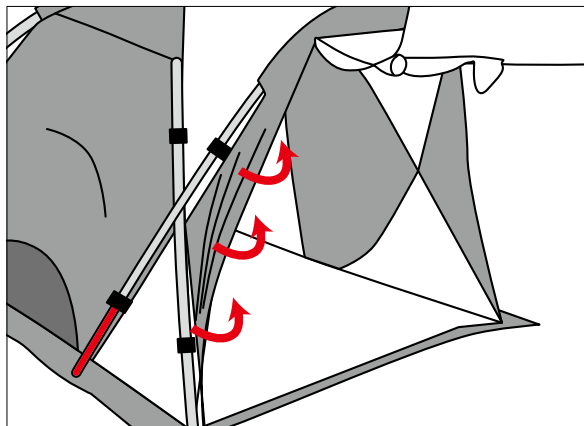


ガセットの端にあるフックをクロスしているポールリングにひっかけて、自在金具で締めあげテンションを調節します。

注意 雨天時にキャンピータープに雨がたまりやすくなるため、ガセットをしっかりと締めあげて雨を流すヶ所を作ってください。



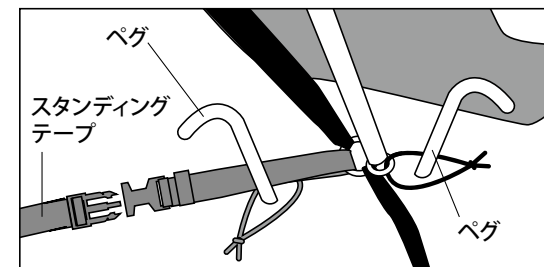
使用しないときは巻き上げることも可能です。



入口のサイドを巻き上げることで、キャンピータープ下のリビングをより広く使うことができます。

X **スタンディングテープを外す場合**

STEP 24 スタンディングテープを外す場合は、ポールをしっかりと固定するために図のように、内側と外側両側のループをペグで固定してください。スタンディングテープをはずした後は、近くのポケットに収納してください。



内側用のペグは付属品に含まれておりませんので別途ご用意ください。

